

●●● 法学科 1回生からのメッセージ

私のキャンパスライフ

部活とサークルがとても楽しいです

私は部活とサークルを掛け持ちしています。部活は軽音で、バンドを組んでこれまでもいくつかのライブに出演しました。本番当日はとても緊張するし、全くうまくいかずに大勢のお客さんの前で恥をかき、先輩に背中をさすられながら号泣したこともあります。ですが、高校生の時からずっと憧れだったバンド活動をできていること自体がとても幸せだし、人の前に立って物怖じせず何かを成し遂げることの大切さをひしひしと感じています。授業後に部室に通って練習をする時間が私にとって何よりも息抜きになっているし、明日からまた頑張ろうと思えます。

私の受験エピソード

支えてくれたすべての人に感謝を伝えたいです

今思えば、受験勉強をしていた期間、本当にいろんな人に迷惑をかけ、助けてもらっていました。毎日学校に残って勉強していて、不安で落ち込んでいた時私の心が晴れるまで話を聞いてくれて、合格発表の日には真っ先に私におめでとうと言いに来てくれた担任の先生。八つ当たりばかりする私に対して何も言わずに受け止めて、夕食には私の好物を作ったり好きなものを買ってくれた両親。先に進路が決まっていたのに、私の受験が終わるまでずっとそばで応援してくれた友達。数えきれないたくさんのお優しい方が私の背中を押してくれました。本当に感謝しています。

●●● 法学科 2回生からのメッセージ

私の学科の学び、ココが楽しい！

想像よりも身近に感じるジェンダー学修

京女の法学部は全国的女子大の中で唯一法学部がある大学で、女性ならではの「ジェンダー法学」に特化した授業を受けることができます。ジェンダーの授業と言っても内容はさまざまですが、ある授業では自分の身が危険にさらされた時は具体的にどのように対処すれば良いか、言いたいことがあるけれど言いづらい時はどうすれば良いかなどを学修します。今は結婚や妊娠・出産に関する女性目線の問題点、またこれらの出来事に関連する内容を学んでいます。自分の将来にとっても役立つ内容で毎回の授業がとても楽しいです。

京女の先生ってこんな人！

学生一人ひとりに目を向けてくださいます！

先生は学生が理解できるまで少し違った言い回しや異なる事例を用いて説明して下さります。皆さんはわからないことがある時、すぐに先生に質問できますか？ 残念ながら私は、はじめは躊躇ってできる限り自己解決しようとしてしまっていました。特にオンデマンド講義の場合は、講義動画を何度も見返し解決しようとしていましたが、わかっていない状態でわかろうとして頑張るよりも先生に教わるほうが、より知識としても定着することを実感して、今はどんどん質問するようになっています！

●●● 法学科 3回生からのメッセージ

私のキャンパスライフ

部活、サークル、アルバイト... 苦手な両立に挑戦!!

大学生活を悔いなく過ごそう!と思い、興味のあることに積極的に挑戦しました。学内では箏曲部に所属し、コロナ禍後では3年ぶりの定期演奏会を開催しました。2年間部長として部活の運営をすることで、成長することができたと思います。大学の行事でお箏の音色をお届けする機会を多くいただき貴重な経験をさせていただきました!また、学外のサークルではオリジナルマンホールを製作し、平安神宮に設置することができました。さらに大学で始めたアルバイトでは接客を経験し、お金を稼ぐ大変さを実感しました。

私の学科の学び、ココが楽しい

自分の興味に合わせた授業を選択できる!!

法学部の基礎科目を1回生で学び、2回生以降は必修科目が少ないので自分の興味に合わせて履修することができます。授業内容も体系的に学ぶ科目が多く、中でもグループワークやロールプレイングを通じてアサーティブなコミュニケーション方法※を学ぶ授業が印象に残っています。法学は難しいイメージがありますが、1回生から少人数の授業があるので先生と関わる機会も多く丁寧に学ぶことができます。3回生から始まる本格的なゼミまでに興味のある分野をじっくり見つけることができる環境も魅力の一つです。

※相手の立場や意見を尊重しつつ、自分の主張を正確に伝える表現方法

●●● 法学科 4回生からのメッセージ

私の卒業論文

『捕鯨を取り巻く国際的状況と日本の政策』

日本は2019年に国際捕鯨委員会を脱退してから、約30年ぶりに商業捕鯨を再開しました。再開にいたるまでの経緯として2010年にオーストラリアが日本の調査捕鯨を国際法違反であるとして訴えた事件があります。私は主にその裁判について分析し、その内容や判決はその後の日本の政策にどのように影響したのか、今後の国際社会はどのように変化する可能性があるのかを国際法的視点から論じています。

京女のココが好き！

京女は資格サポートが充実しています。私は現在簿記3級の資格講座を受講していますが、講座はわかりやすく、自分のペースで勉強を進められるのが良い点です。このような資格制度が充実していることで休み期間や、授業が少ない上回生でも有意義に学生生活を送ることができると思います。

高校時代にやっておいた方がいいと思うこと

私は小学生の頃から英検を取っていたので、中学・高校時代にも英検の勉強は続けていました。英検である必要はありませんが、自分の好きなことや興味のあることは学校の勉強とは別に趣味のような感覚で続けることをお勧めします。部活や習い事など、好きなこととはできるだけ続けることでそれが勉強の息抜きになったり、経験として直接何かに役に立つと思います。